

昭和63年 商業統計調査

6月1日現在で実施

通商産業省では、昭和六十三年六月一日現在で商業統計調査を実施します。

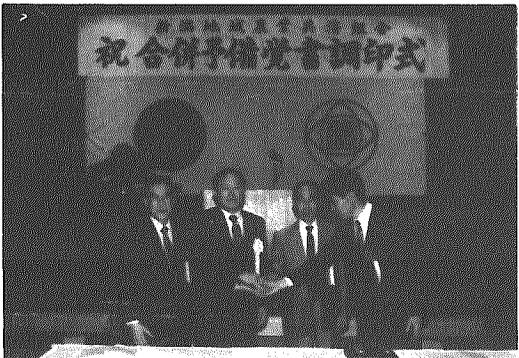
この調査は、全国の卸売業、小売業を管んでいるすべての商店を対象とする調査で、わが国の商店の販売活動の実態や、分布状況及び商品の全国的な流通状況などを明らかにすることを目的とした、いわば「商業の国勢調査」ともいえる重要な調査です。

本調査は、国や都道府県、市区町村における商業の育成流通機構の近代化などの施策

を進めるうえで重要な基礎資料として多くの分野で利用されます。また、各商店の経営方針としても活用されています。

調査は、県から任命された商業統計調査員が、商店を直接訪問し、調査票に記入していただいで回収するという方法で行います。

提出される調査票は、統計法により厳重に秘密が守られますので正確な申告にご協力ください。



来年4月1日発足をめざして行われた調印式

農業共済事業

合併予備覚書調印

六十四年四月一日合併へ

かねて新潟市、亀田町、横越村の農業共済事業の広域合併の話し合いが進められ、基本的合意に達したため、去る四月十九日県農業共済組合連合会で、来年四月の合併を目指して、新潟地域農業共済組合との合併予備覚書調印式を行いました。

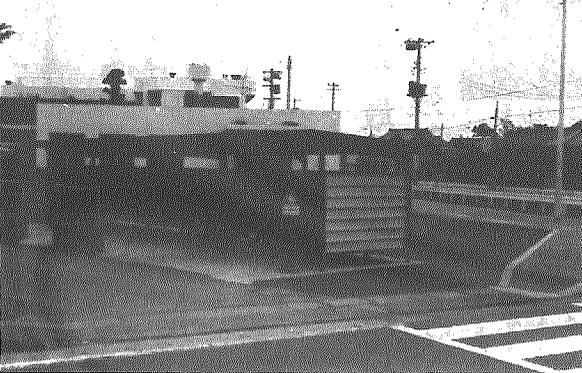
調印式には、県農林水産部、県農業共済連、新潟市、

亀田町、横越村などの関係者四十人余りが出席。経過報告の後、新潟市の伊藤農林水産部長、亀田町の坂井町長の立ち合いのもと、新潟地域農業共済組合の原田組合長と浅見村長が合併予備覚書に署名、捺印して、両人は固い握手を交わしました。

今後、今月の臨時村議会での議決や新潟地域共済組合総代会の議決を経て、県知事の認可を受け六十四年四月一日に正式に発足する予定で、新組合（事務所は新潟市）になる事業規模では、県下六番目の広域共済組合となります。

村は、広域合併に向け、昨年十月に村農業共済事業運営協議会に合併についての諮問を行うとともに、同十二月には新潟地域農業共済組合と合併推進協議会を設立し、協議を重ねるなど準備を進めてき

横越郵便局隣りに 自転車置場を設置



新たに設置された自転車置場

村はこのほど、横越郵便局などの協力をいただき、横越郵便局隣りに、通勤・通学者の利用に供するため、自転車置場を設置しました。

この自転車置場は、長年通琳寺の敷地内に設置されてきたものが、老朽化したことと横越バス停がAコープ横越店

前に移動したため場所を移して新設したものです。

自転車やミニバイクを、道路やあき地に放置することなく、この施設をおおいに利用してください。

また、利用者のみなさんは、自転車にカギをかけ、きちんと置きましよう。

ていました。

今年三月には、運営協議会の「広域合併後においても、農家に対し不利益を与えないことのないよう十分配慮し、家畜診療所の存続にも適切な対策を講ずる」よう要望する旨の答申があり、それを踏まえての予備覚書調印となったものです。

5月15日～21日
春の「行政相談」週間
身近な問題
どうぞお気軽に

私たちが行政に対する苦情を申し出る際、身近な窓口になつてくれるのが「行政相談委員」です。行政相談委員は、総務庁長官が特にお願いした民間の有識者の方で、全国の市町村に配置されています。

横越村では、大字横越の佐藤太郎さんが行政相談委員に委嘱されています。

行政相談で受ける相談は、国の仕事をはじめ、公団、事業団などの仕事、国から県・村に委嘱された仕事に関するものなどで、例えば、道路、河川、年金、税金、登記、公害、生活保護などについて、「説明が納得できない」、「処理が遅くて困る」、「不親切な扱いを受けた」、「どうしたらよいかわからない」、「こうしてほしい」など苦情や相談、意見です。相談は無料で秘密は固く守られますので、お気軽にご相談ください。

行政相談委員 佐藤太郎
☎三八五—三三一九

村団 越防 横消

春季合同演習で練習の成果を披露

ポンプ操作 競技会



きびきびと日頃の練習の成果を披露

横越村消防団の春季合同演習が四月十日、快晴の空の下横越小学校グラウンドで開かれました。

消防団は日頃からその活動が発揮できるように、分団毎に練習を重ねてきていますが、年一回合同演習を行うもので、村長や新潟南警察署長らを迎え、高橋团长以下団員約二百名が参加して行われました。

午前八時三十分よりグラウンドで団長の訓示や浅見村長からのあいさつを受け、分団毎の閲団と人員姿勢服装点検を受けました。

ポンプ操作では、来年のポンプ操作競技会新潟県大会出場チームの選抜を兼ねていることもあって、自動車部と六分団の団員は来賓らが見守るなか、ホースの装着から放水まできびきびとした動作で練習の成果を披露しました。そのなかで、第二分団（沢海）が一位を獲得し県大会出場を決めました。

続いて、分列行進では、横越中学校プラスチックの軽やか



村長より協力要請がされる

昭和63年度嘱託員（区長）

地区	氏名	世帯数	人口
横越	上 中村 巖	172	792
	中 佐藤 豊次	297	1,273
	下 渡辺 秀雄	169	753
川根谷内	上 渡辺 久	254	1,047
	中 仁多見 栄作	105	498
	下 坂井 四雄	103	451
山	上 高橋 徳一	86	415
	中 井口 静男	35	161
	下 佐藤 千代志	55	277
木津	上 今井 長藏	97	458
	中 今井 朝一	90	410
	下 横山 七郎	58	262
二本	上 仲村 秀文	211	848
	中 原 清衛	76	77
	下 熊一 三郎	53	237
小杉	上 宮沢 遠	82	404
	中 藤 大沢	59	285
	下 田村 富美夫	62	301
藤駒	山 田村 富美夫	50	244
	小 武 孝	31	160
計		2,145	9,353

世帯人口は昭和63年3月末日現在の住民基本台帳によるものです。

浅見村長が1日郵便局長

— 4月20日の通信記念日に —



局員に訓示をする1日局長の浅見村長

郵政省では四月二十日の通信記念日に各種の記念行事を実施していますが、今回浅見村長が横越郵便局の一日局長

として午前八時三十分に出動、職員一同に、今後ともいっそう地域と深く結びついて共に発展していかなければならな

い、旨の訓示を行い、岡本局長から郵政三事業の現況と、横越郵便局の局務内容の説明を受けた後、窓口来訪者の応待等にあたり無事終了しました。

昭和六十二年度の横越村公共下水道事業は総事業費三億一千六百万円で施工され、このうち一億九千万円は、みなさんが利用されている郵便局の簡易保険や郵便年金の積立金より、還元融資を受けたものがあります。

この融資は、長期返済で低利なものとして幅広く利用されています。

な演奏により、団旗を先頭に六分団と自動車ポンプ一台、積載車六台の大作進が堂々と行われ、最後に浅見村長から日頃の訓練の成果が発揮された立派な演習であったとの講評があり、合同演習は終了しました。

県大会に出場されるみなさんのご健闘を期待いたします。

年金
保険
郵便
簡易
昭和六十二年
共下
一六
のう
さん
の積
金よ
のが
この
利な
れて

村の下水道事業
積立金還元融資で
工事はかどる